

二〇二六年度 大学院入学試験問題【I期】

文学研究科 史学専攻 日本史学専修(博士前期課程)

科目: 論文専門科目(日本史学) (辞書使用不可)

受験番号() 氏名()

「I」 日本史上の内乱・内戦について、それぞれの時代的特徴をふまえながら、通史的に述べよ。

〔解答はこの用紙に記入しなさい〕

二〇二六年度 大学院入学試験問題【I期】

文学研究科 史学専攻 日本史学専修(博士前期課程)

科目: 論文: 専門科目(日本史学) (辞書使用: 不可)

受験番号() 氏名()

[II] 次の(1)～(5)より二問を選び、解答せよ(三問以上選択すると無効)。

(1) 次の古代の史料を読み、設問に答えよ。〔解答はこの用紙に記入しなさい〕

「養老獄令」1 犯罪条

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

[出典: 「養老令」奈良時代]

問一 右の史料の傍線部を句点・読点を書き分け漢字仮名交じりの読み下し文にして左に記せ。

問二 右の「犯罪、皆於事発処官司推断」とはどういうことが、内容を簡潔に説明せよ。

問三 右の「犯徒以上。送刑部省。杖罪以下当司決。」について、それぞれのケースを分けて簡潔に説明せよ。

二〇二六年度 大学院入学試験問題【I期】

文学研究科 史学専攻 日本史学専修(博士前期課程)

科目: 論文:専門科目(日本史学) (辞書使用:不可)

受験番号() 氏名()

(2) 次の中世の史料を読み、設問に答えよ。なお、◇内は削書を示す。史料は表記を一部改めたところがある。

[解答はこの用紙に記入しなさい]

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

出典:和歌山市立博物館所蔵「林家文書」

問一 傍線部①および②について、それぞれの読み方と意味を簡潔に述べよ。

①

②

問二 波線部について、句読点ごとに区切ってすべて平仮名で書き下せ。

問三 波線部について、現代語訳せよ。

問四 この史料の文書名を記せ。また、その形式・様式上の特徴についても簡潔に説明せよ。

二〇二六年度 大学院入学試験問題【Ⅰ期】

文学研究科 史学専攻 日本史学専修(博士前期課程)

科目: 論文: 専門科目(日本史学) (辞書使用: 不可)

受験番号() 氏名()

(3) 次の史料は、大飢饉のあとを乗りきろうとして納めた願文の草案である。史料を読み、設問に答えよ。解答はこの用紙に記述せよ。

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(出典: 日本歴史学会編『寛政 古文書選 近世篇』吉川弘文館、一九七一年、四二頁・一五七頁)

問一 傍線部①～⑤を全文ひらがなで書き下せ。(例) 年貢割付 なんぐわりつけ

①

②

③

④

⑤

問二 史料中の「松平越中守」とは誰を指すか。その氏名を漢字で記せ。(例) 徳川家康

問三 この史料の大意を述べよ。

問四 この史料の背景となった大飢饉や当時の社会について説明せよ。